

日光白根山・皇海山・吾妻那山

2015.10/19～21

10/19 (月、快晴) 自宅 4:50～ (D・Kさんと合流し) 安曇野 I C 5:25～8:00 沼田 I C～8:45 丸沼高原登山口 8:55～ (日光白根山ロープウェイ)～山頂駅 9:10～11:35 日光白根山 (2578M、日本百名山、関東以北最高峰、昼) 12:15～弥陀ヶ池・七色平経由～14:20 山頂駅～ (吹割の滝見物) 16:30 老神温泉伊東園山楽荘 (泊)

10/20 (火、晴れ) 7:50～ (栗原川林道経由) 8:50 皇海橋登山口 9:15～10:45 鋸岳分岐 10:55～11:45 皇海山 (2144M、日本百名山、昼) 12:20～12:50 分岐 13:00～14:20 登山口 14:35～15:45 幡谷温泉ささの湯 (泊)

10/21 (水、晴れ) 6:30～7:40 ノルン水上スキー場で山田さん・Oさんと合流しスキー場中間まで移動し 8:15～9:05 スキー場リフト山頂駅 9:20～9:35 吾妻那山 (あずまやさん、1341M、関東百名山・群馬百名山) 9:55～11:00 水上大峰山 (1255M、群馬百名山)～11:50 大峰沼 (昼) 12:45～13:40 スキー場中間点 P (解散) 13:50～ (藤岡 J C T で上信越道へ入り損ねて圏央道～中央道経由) 19:20 帰宅
総走行距離 749KM。

毎年秋恒例の群馬県みなかみ町の山田さんとの交流登山 (今年は吾妻那山と大峰山)、ついでに日本百名山挑戦中のDさんのサポートで日光白根山・皇海山に登って来ました。

1日目～早朝D・Kさんと合流して高速道で沼田 I C 経由白根山へ。丸沼高原としてペンション村やスキー場があってロープウェイ (全長 2500M, 標高差 600M) もあるので人気の観光地になっている。平日だと言うのに百人近い登山者とすれ違う。

白根山ロープウェイ、下はスキー場、奥は武尊岳

山頂駅からの日光白根山



しかも若者が過半数を超える珍しい山だ。紅葉は麓だけで登山道は針葉樹林帯がほとんど

なのが弱点であるが。上部は火山らしい風景だ。完璧と言えるほど案内板も完備されていて地元の力の入れようを感じる。



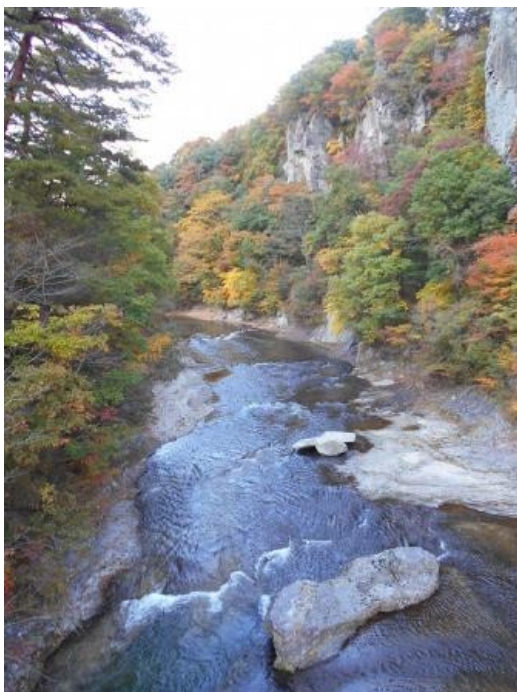
←天空の足湯

山頂からの展望も関東以北の最高峰だけあって素晴らしい。眼下に中禅寺湖・丸沼・菅沼等、眼前には男体山・女峰山・燧岳・上州武尊岳等々。下山は弥陀ヶ池コースで。山頂駅前には「天空の足湯」や展望台があって大勢の観光客で賑わっている。平日にこれだけ賑わっている観光地も珍しいと感じた。早く登山が終わったのでKさんが見たことのない「吹割の滝」をゆっくり見物してから宿に向かった。



←白根山山頂

吹割の滝



←吹割の滝・付近の紅葉

2日目～朝食時間が7:30からと遅いので出足が遅れて栗原川林道へ向かう。私が百名山挑戦中に営林署から地元に移った道である。山道の運転に慣れない連中からは評判の悪い林道で有名で、百名山派も登山よりも林道の通過に苦勞する山と記す人が多い。昨日日光白根山で話をした人も前日に皇海山に登るべく行政に問い合わせたら栗原川林道は悪路なので62号線（沼田大間々線経由）の利用を薦められて走ったが悪路で車の腹を擦ってしまい途中で諦めて袈裟丸山に登って来たと言っていた。案の定途中で車が停まっている、運転手が私の車を止めて後何KMで登山口に着くのか聞いてきた。悪路で車が傷むので此処からは歩いて登山口の皇海橋まで行きたいとの事。車高の低い車や高級車はこの道には向かない。悪路には慣れているので無事に皇海橋に到着する。何と15台も停まっている。聞いてみると最近では62号線経由で来る車も多いようで道幅が広いようだ。

懐かしい登山口です



鋸岳です



←皇海山山頂

私も話の種に帰路は利用したかったが、宿が片品村なので遠回りになってしまったので諦めた。帰路はそっちを利用するという登山者にメルアドを渡して道路状況を教えて貰う事にした。(比較してどっちが悪路か) いずれにしても悪路を20KM以上走って山頂からの展望も悪いこの山にわざわざ登る人は恐らくほとんどが日本百

名山派であろうと推測する。

ここの登山道も標識がしっかり整備されていて迷う事は無い。事前に山田さんが送ってくれたパンフレットの中に利根沼田県民局利根沼田行政事務所発行の「利根沼田地域日本百名山ルートガイド」があった。地域にある百名山9座（谷川岳・皇海山・武尊岳・赤城山・燧ヶ岳・平ヶ岳・巻機山・日光白根山・至仏山）を掲載した画期的なパンフレットで感心したが行政が登山に力を入れているので案内板やルート標識が完備されているのだ。私が登った時とルートが変わったのか、途中急坂で滑りやすい所があったが道も良く整備されている。予定より早く下山できたので、明るいうちに宿へ着けた。温めだが良い温泉だった。

3日目～今日は恒例の山田さんとの交流登山日、朝食抜きで宿を出てコンビニ食を下牧PAで食べて集合場所のスキー場へ。ここ数年参加している新潟のOさん、山田さんと合流してさらに上部へ車で上がる。スキー場の中間地点に車を置いてスキー場のゲレンデを登る。

紅葉のスキー場を登る



吾妻那山



好展望です



大峰山山頂



結構勾配があるが80歳の山田さんはお元気でスタコラ足早に登って行く、ついていくのが大変な速さで。自宅近くの戸神山（関越道の沼田～月夜野間で目立つとんがった山）にチョコチョコトレニングで登っている成果を感じた。広葉樹林帯で紅葉の真っ最中で気持ちが良い。吾妻那山山頂からの展望は素晴らしかった。整備された道を大峰山へ。

テレビ塔などが多いです

大峰沼



←由来書き

山田さんの案内を聞きながら歩く。時期がらきのこを探しながら歩くが此処の倒木や切り株は古すぎてきのこが発生しない感じ、土が乾燥してもいる。くりたけとチャナメツムタケが少し採れただけだった。大峰沼で昼食・休憩する、昔はキャンプ場等があり盛ったようでその名残が残っていた。案内して下さった山田さん有難うございました。帰路車内で

の会話に熱中してしまい藤岡ジャンクションで上信越道に入るのを失念してしまい、圏央道・中央道経由になってしまい100KM以上遠回りをしてしまった。反省！。

赤沼健治